

NHK大河ドラマ「天地人」の放映により、県内外から多数の観光客が米沢を訪れ「天地人ブーム」が起きている。このブームは多くの方々に米沢を訪れてもらうチャンスであるだけでなく、市民が地域の歴史を知り、地域資源に触れ、そして地域を愛する「まちづくり」の絶好のチャンスでもある。

大河ドラマ「天地人」の視聴率は毎回20%台と好評で、放送にあわせて開催している「米沢 愛と義のまち 天地人博2009」は、目標入場者数の20万人を開催159日目の会期半ば前に達成し、秋のシルバーウィークには35万人を達成した。これは、最近の歴史ブームに加え、高速道路利用客の増加や、さくらんぼなどの山形が持つ潜在的な観光能力に、さらに大河ドラマ「天地人」の魅力が追加された効果と思われる。

## 米沢と直江兼続

米沢市は人口約9万2千人の“ものづくり都市”で、東北第3位の製造品出荷額を誇る。観光資源として、米沢城址である松が岬公園など上杉家ゆかりの名所・旧跡・文化財や、四季折々の豊かな自然景



写真左：  
天地人博  
2009



写真右：  
札の辻

## 大好評「天地 米沢が取り組む、

観と8つの温泉やスキー場とともに米沢牛等の名産品がある。また、「米沢上杉まつり」、「上杉雪灯籠まつり」「小野川温泉ほたるまつり」などに毎年多くの観光客が訪れる。

この城下町・米沢の基礎を築いた人物が、ドラマの主人公・直江兼続であり、米沢藩初代藩主上杉景勝の重臣である。上杉神社の宝物殿である稽照殿には兼続所有「愛の兜」、春日山林泉寺には兼続とお船の墓、治水事業の足跡である「直江石堤」など、多くの史跡が残されている。

「米沢 愛と義のまち 天地人博2009」は、直江兼続ゆかりの米沢の上杉博物館を会場に、来年1月11日まで無休で開催している。コンセプトを「天に“愛”、地に“民”、人に“故郷(くに)”」とし、直江兼続の想い、人となり、米沢での功績を知ることができる。

みどころには、実際にドラマで使用された衣装や小道具の展示、ドラマで俳優が演じる人物と史実に基づいた実像のパネル展示がある。また、博物館で開催していることから本物の文化財をご覧いただけるのも米沢ならではのことで、毎月テーマを選定して直江兼続の実像に迫る実物資料を展示する「天地人コレクション」は好評を得ている。

## 「天地人」でまちづくり

大河ドラマ「天地人」の放送は、本市の魅力を全国に向けて発信する大きなチャンスである。観光地としてのブランドカを高め、観光関連産業をはじめ



米沢市 企画調整部総合政策課 天地人推進室 主任

### 東海林 和宏 (しょうじ・かずひろ)

1968年福島県喜多方市生まれ。1991年東北大学理学部数学科修了。富士通東北デジタルテクノロジー㈱を経て、1993年喜多方市役所勤務、2008年4月人事交流先の米沢市に出向し、総合政策課に配属。まちづくり推進担当に配属。2008年12月より現職。自称、「心に太陽、あたまたに教養、からだに栄養と休養を。」の、知育・体育・徳育・食育・共育サポーターとして、日々仕事と社会活動、地域活動を楽しんでいる。

〒992-8501 米沢市金池5-2-25

TEL 0238-22-5111

## 「人博2009」 次なる挑戦は

本市経済の活性化をはかり、市内ににぎわいと活力を創造する絶好の機会となる。また、市民にとっても、郷土の歴史や文化、さらには先人の偉業などを学ぶことで、米沢のまちづくりの原点を知りつつ、ふるさとの素晴らしさを再認識し、まちづくりのさらなる推進につなげていく大きなきっかけとすることができる。

ドラマが始まる2年前、平成19年に民間団体、産業界、行政等が一体となった推進組織『大河ドラマ「天地人」米沢市推進協議会』を設立し、取組みを進めていくに当たってのコンセプト「人づくり」、「まちづくり」、「ブランドづくり」の3つを掲げて、各種事業を推進している。「人づくり」は、子どもから高齢者の方々まで広く参加できる学習の機会をつくり、より多くの市民が直江兼統の事績を理解し、顕彰することを目的とする。「まちづくり」は、市民が主体となって、きれいなまち、品格のあるまちづくりを推進するとともに、他都市との市民交流によって郷土のよさを見直し、情報発信することを目的とする。そして、「ブランドづくり」は、観光客に対するおもてなしの心を醸成するほか、関係機関と連携、協力して誘客運動を強化するとともに、観光拠点の基盤整備を図ることを目的とし、マスコットキャラクター「かねたん」が誕生した。

### ブームに終わらないために

いよいよ、ドラマの舞台は米沢へと移った。今回

の「天地人」放映により、直江兼統に新たに光が当てられ、今までお客様が少なかった関連史跡にも、多くのお客様にお越しいただいている。もっと歴史資源を掘り起こし、光を当てることにより、米沢の魅力を増大することができる。そして、発掘した歴史資源を多くのお客様の目に触れるように、整備・活用していきたい。実際、米沢藩の公告がなされた「札の辻」跡に、観光案内所とお休み処を整備し、天地人博2009シャトルバスの発着所とした。

米沢市は、周囲を緑豊かな山々に囲まれている反面、市街地は、花や樹木などの緑が少ない。花と樹木におおわれたまちづくりを長期的な計画により推進し、緑あふれる街並みを創り、歩きながら回遊しやすい環境を整備し、多くの観光客の皆さんに米沢歩きを楽しんでいただきたい。さらに、米沢のまちなかを歩くと文化の香りが漂う、米沢の人に触れると心があたたかいと皆さんに思ってもらえるよう、文人兼統の「智」を市民の心に広めたい。天地人放送と市政120年を迎えた今年を契機として、上杉の「毘」と「龍」、天地人の「愛」と「義」、そして「智」の御旗を掲げて、次の時代に力強く羽ばたきたい。



愛の甲冑 (レプリカ)